

広報



かつうら

第31号 昭和48年1月1日

町民のうごき

世帯数	1,937	男	4,216
人口	8,510	女	4,294
	男	女	計
出生	3	4	7
死亡	4	3	7
転入	5	19	24
転出	7	21	28

昭和47年12月1日現在

昭和47年12月1日現在

発行所 徳島県勝浦郡勝浦町

新春

昭和48年の輝かしき日の出 (鶴林寺にて)



ごあいさつ

勝浦町長 堺 福一

輝かしい新春をことほぎ、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、町政に対し、ひとかたならぬご協力を賜わり、まことにありがとうございました。心から厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、みなさまがたのご協力のもとに、町民生活に直結した老人医療無料化、母子栄養強化のためのミルク支給などを実現できたのをはじめ、町づくりの基礎となる町道の改良舗装、スポーツ、リクリエーション活動の場となる中学校運動場の夜間照明施設、横瀬、生比奈両小学校のプール建設事業は予定どおり完成し、横瀬小学校体育館、教員住宅、同和対策事業の小集落住宅建設などの諸事業も、昭和四十七年度事業として完成できる見とおしが立ちました。しかしまだまだ、当面の諸問題もかかえているわけですが、一地方自治体では、どうしても手のとどかない大きな問題もあると思います。日ごろからわたしは「町民のための町政」をモットーにしていますが、この難関を切り抜けてこそ、勝浦町の将来の発展が約束されると思うのであります。どうかことしも、みなさんの絶大なご理解とご協力をいただき、明るく住みよい町づくりを目ざして頑張りたいとお願いいたしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり新年のごあいさつといたします。

おもな内容

- 成人式の挙行……………(2)
- 「朝桐奨学賞」……………(6)
- 園芸文化祭のご案内……………(3)
- 同和教育シリーズ……………(7)
- 成人者名簿……………(4)
- 今月の農作業メモ……………(8)

勝浦町議会

年頭のあいさつ

新しい年を迎えてつつしんで
年頭のごあいさつを申し上げます

勝浦町議会

昨年は町議会に対し、深いご理解とご協力を賜りましたこと、ありがとうございます。
本年も、町民各位のご付託に応えるために議員一同心を新たに研さんを積み、よりよい町政の繁栄に努力をいたしたいと思います。
みなさまの暖かいご指導とご支援をお願い申し上げます。
新年のごあいさつといたします。

西浜 勝巳	山路 保義
平岡 武	若木 肇
滝口 良一	味間喜久雄
坂口 貞雄	坪内正太郎
小関 武夫	岡本 照男
佐藤 寿治	岡 敬二
山本 圭一	高橋 肇
大井 儀	古井 治
中西 晴美	平 忠
以上	以上

成人式の挙行

とき 昭和四十八年一月二日午前十時
ところ 勝浦町住民福祉センター

一月二日は二十歳を迎え、成人となられた青年男女が、理想と希望を胸に、新しい門出をするのを祝い励ます日です。
当日は、全戸が日の丸をかかげ、新しい成人の輝かしい未来を祝いました。勝浦町では、この日午前十時から福祉センターで、盛大に成人式を行ないました。該当者は昭和二十七年四月二日から、二十八年四月一日までに生れた男女で、二百十二人が新成人として参加します。

成人式では、堺町長から全員に記念品を、来賓からはお祝いと励ましのことが贈られ、新

成人代表者(六人)の抱負、感想文の発表が行なわれます。式終了後は、記念撮影とリクレーション(フォークダンス)などの行事を予定しています。
◎教育委員会では新成人に、つぎのことを呼びかけています。
成人式は、おとなへの第一歩をしるす意義深い儀式です。
◇式には全員そろって、時間に遅れないよう出席しましょう。
◇服装は、自発的に簡素な洋服で出席しましょう。
◇当日通知もれの方がありましたらお誘い合わせご出席ください。

教育委員会

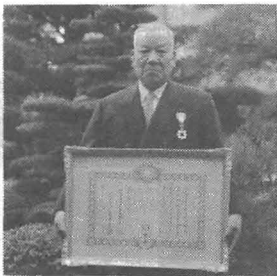
おめでとうございます

前町長中田森蔵氏

勲五等双光旭日章を受章



昭和四十七年秋の叙勲において、地方自治功勞によつて、勲五等双光旭日章を受章されました。
中田森蔵氏は、昭和二十二年四月から昭和三十四年三月まで、横瀬町、勝浦町の議会議員を、通算十二年間、昭和三十四年三月勝浦町長に当選されてから四十六年四月まで、三期十二年間にわたり在任されました。
勝浦町長在職中におけるご功績は、新農村建設事業の完成を皮切りに、第一次、第二次農業構造改善事業、沼江橋開拓パイロット事業の完成、沼江中角農地開発事業および坂本農地保全事業の着工、さらに、農協合併の推進や勝浦川総合開発事業の促進、公有林整備事業、船井電機、中野鉄工などの工場誘致があります。
また、教育施設の整備充実面では、社会体育館、学校給食センターの建設、生比奈小学校の



中田 森蔵氏

移転に伴う増改築、統合中学校の建設、勝浦園芸高等学校の独立昇格をなし遂げられました。
福祉厚生関係事業としては、隣保館、横瀬保育所の新築、勝浦病院の病棟、診療棟、管理棟の新築、星谷、生名、横瀬、中山、棚野、久国の簡易水道の設置、道路橋梁の整備事業には、黒岩橋、今山橋の永久橋化。昭和三十四年から四十年までの七カ年にわたる失業対策事業と、全町的な町単独事業による道路の舗装改良事業があり、いずれも大きな業績であります。
このような公共投資の充実と併行して、環境衛生、結核予防母子衛生、成人病予防対策を積極的に推進したことが認められ、昭和四十一年九月二十日厚生大臣から保健文化賞、昭和四十二年十一月十七日保健衛生衛生優秀団体として自治大臣表彰の栄誉に輝いたのであります。
こうした公的なご功績とともに、個人的にも、学校用備品費や日本赤十字事業資金などに多額の私財をご寄付され、昭和三十六年四月と昭和三十八年十月の二回にわたり紺授褒章を受章、昭和四十五年五月には、飾版を授与されています。
このような公私にわたるご功績がこのたびの受章となつたのであります。十二年にわたる

る町長在職中、つねに「町民の和」「円満な行政」をもつとにされ、温厚誠実な人柄と相まって、勝浦町の発展に貢献されたのであります。
ここに町民のみなさんとともに心からこの受章をお喜び申し上げます。ますますのご発展とご健康をお祈りする次第であります。

毎木健二氏に 厚生大臣賞

斎藤勝一氏に 厚生省援護局長賞

さる十一月十六日、多年にわたり援護事業に、また社会福祉事業に貢献されたその功績をたたえ、石原・毎木健二氏(七三)に厚生大臣賞、掛谷・斎藤勝一氏(五七)に厚生省援護局長賞と、それぞれに記念品がおくられ、栄ある賞を受けました。
心からこの受賞をお喜び申し上げます。



毎木健二氏



斎藤勝一氏

消防出ぞめ式

とき 一月四日午前九時三〇分開会
ところ 勝浦中学 校運動場
(雨天の場合は同校体育館)

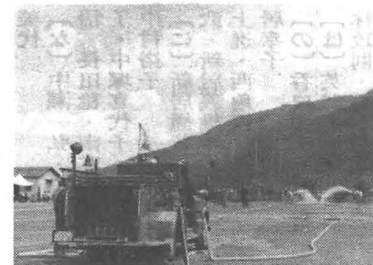
いわゆる「町火消し」と呼ばれた消防の歴史は、慶安三年(一六五〇年)に始まったといわれます。いまから三百二十三年も前のことです。

消防使命の達成に万全を期したと念願しています。

このように長い歴史と伝統をもった消防は、住民の生命財産を守り、町民生活の安定向上に大きな役割りを果たしているばかりでなく、住民自治、地域コミュニティの根本といえます。

ことしも、恒例の出初め式を行ない、年のはじめに心あらたにして、消防団の一致団結と、

いわれる「町火消し」と呼ばれた消防の歴史は、慶安三年(一六五〇年)に始まったといわれます。いまから三百二十三年も前のことです。



消防大会での操法風景

園芸文化祭のご案内

主催 勝浦園芸高等学校
後援 勝浦町
場所 勝浦園芸高等学校
期日 一月十四・十五日の二日間



農産物品評会

日ごろ、農家のみなさんが汗を流して作った、農作物の展示会を行ないます。この園芸祭を盛大なものにするために、多数の方のご出品とご来場をお待ちいたしております。

なお当日は、農産物品評会のほか芸能会、書画写真展、健康展、食物展、被服展、科学展も行ないます。

勝浦スタンプ組合設立

(消費者のみなさまへサービス向上に)
一月からスタンプ販売



昭和四十八年度事業計画案
一、勝浦スタンプ組合長杯争奪

- ボーリング大会 (二月)
- 一、高野山参拝 (四月)
- 二、海賊料理 (六月)
- 三、剣山登山 (八月)
- 一、ぶどう狩・たらいうどん (九月)
- 一、泊温泉旅行 (十月)
- 一、物品交換 (十二月)

勝浦町商工会

農薬空びんのあとしまつは だいじょうぶですか?

農家のみなさん、みかんの採取もすみ一年の農作業が全部終了してほっとしていることと思います。

しかし、みかんの収穫をより高めた農薬さん布のあとしまつはおこなったでしょうか?

農薬の空びん、空袋による人畜の被害は、本町では発生したことはありませんが、未然に防止の手段をとらなければなりません。

思わぬ時、事故は発生するものです。

幼時が頑具などにして遊ぶ危険性がないよう処置すべきです。

みかん園や貯蔵庫のすみに、また住宅地内に、農薬の空びんを積み放置してはいないでしょうか、点検してください。

農薬の空びんは、毎月役場から巡回しているビン粉砕機により処理していることと思いますが、まだ残っている農薬は、この際必ず一掃しましょう。

本月のビン粉砕機の巡回日は一月十七日です。
前日までに、散逸、危険性のないようビニールの袋等に入れ口をしぼって指定の場所へ持参してください。

勝浦町集中管理防除組合
産業課

保育所だより

横瀬保育所
生比奈保育所
沼江保育所

年末年始に数日お休みをいただきますが、新年一月五日より従来通り保育措置を開始いたしますので、児童を登所させてください。

今月の老人風呂

一月六日・一月十日の五日間に変更します。
お誘い合わせご利用ください。

昭和四十八年度

成人者名簿 (男二四名 女八八名)

(あいうえお順 敬称略)

- 〔あ〕 浅田泰市・阿部国晴・阿部倍延・鮎川義孝・安東稔・秋成栄子・阿部順子・阿部孝子・藍原美代子・秋本勝子
- 〔い〕 池田和則・泉正吉・泉泰雄・伊丹為之・今川和人・石本晴夫・今岡武夫・泉原利恵子・伊丹佐家枝・今川直美・岩佐敬子・石田信子・伊丹一恵・石本晴代
- 〔う〕 上田善一・上田徹・上西和秀・上西敏・上平哲也・丑若照美・梅沢啓子・上岡恵子・上田ふみ
- 〔え〕 戎野孝行
- 〔お〕 大西和典・岡晴生・岡義則・岡本雅行・麻植和明・大栗英夫・大西一弘・岡田孝・岡田道明・押栗和代・押栗孝枝・尾崎栄・奥口進
- 〔か〕 柿原俊蔵・寛常和・稼勢郁夫・片山明・河崎宏幸・河野英生・寒山雅之・榎本茂・榎本正美・海川千栄美・稼勢やよい・神子家素恵・河村泰子・加々美澄子・河野すえこ
- 〔き〕 木下末義・岸新治・北山静雄・北山靖・儀宝武夫・北山茂子
- 〔く〕 久保定嗣・久米隆和・久保佳茂・日下千代・日下ひろ子・久保恵子・倉坪芳子・栗城富子
- 〔こ〕 幸山司・鴻本浩・小坂撰・小原恒弘・小林敏子・幸泉美代子
- 〔さ〕 坂口孝文・坂田道夫・堺香代子・堺恭子・坂脇節子・作本美知代
- 〔し〕 新開裕定作靖・白樺末子
- 〔す〕 鈴木裕之
- 〔せ〕 瀬戸清治
- 〔た〕 滝佳典・立石裕一・谷口哲也・田中三善・谷脇澄雄・田中弘子・谷崎準次・田中喜代江
- 〔つ〕 坪井美恵子
- 〔て〕 出葉順子
- 〔と〕 戸川泰雄・豊岡芳之・東条千枝子・豊井由紀子・豊井喜美代
- 〔な〕 中瀬一弘・中野直・中村悟・長田稔・南本政行・中川幹子・中塚喜代子・中野千恵子・中村裕子
- 〔に〕 新居徹・西浦由哲・西原武・新居義雄・二階堂政博・西上進・西角博・新居恵美子・新居幸子
- 〔の〕 呑口和昭・野上重治
- 〔は〕 英巽・浜守・早川美津夫・林政則・橋本芳雄・朔宏一・花岡吉徳・原田明広・橋本明美・橋本欣子・花園晴美・鼻知場勝美
- 〔ひ〕 日浦勉・東山孝広・平尾静夫・平尾恒夫・平岡勝康・樋本勝信・平岡洋一・樋口美千代・平井孝子・広井貴美代・平島英子
- 〔ふ〕 福徳吉高・藤本旭・古田茂樹・富士平賢二・古井邦一・福田和代

- 〔ほ〕 堀正明・細谷すえこ・堀修子
- 〔ま〕 増田政明・松田常男・前田良昭・松田貞男・松本威・丸山敬章・松田千恵子・松平富美子・前野初美・松本知子
- 〔み〕 湊博行・宮本義博・美馬稔・美馬喜美恵・宮田幸代・宮床勝恵・宮本千鶴・宮本利枝子
- 〔む〕 村上美佐江
- 〔も〕 森宮一・森脇道男・森野真弓・森内千枝

- 〔や〕 山口雅士・山口和紀宜・山下保広・山下元一・山部直好・山本博文・山本博興・山喜宏一・山田和広・山村昭喜・山下晶子・山口美恵子・安富豊子・山下昭子・山路靖代・山畑多美子・山海啓子・山本貴志代・山本静子・山本まり子・山本美代子
- 〔ゆ〕 湯浅ひとみ
- 〔よ〕 米田在富・吉岡正利・吉田和弘・吉平富久・陽地利江
- 〔わ〕 綿木時夫・渡辺京子

二十歳になって

横瀬 中野 直



まず成人式を迎えるという言葉の中から連想するのは、大人一人前、独立(精神的・物質的)選挙権、こんな言葉が浮かんでくる。ちょうど、国会の解散、総選挙という大きなできごとがわれわれ二十歳になった者の目前にあった。

さて、政治とはいったい何であらうか。これを考えてみることにした。この二文字は、簡単でかつまた思慮深い言葉である。いま、新聞などで、若者の政治不信がいかに叫ばれている。なぜそういうことが取り上げられるようになったか。その原因は、ずっと以前からのように思われ

る。一部を除く一般の人たち(有権者)は、今まであまりにも政治に対して無関心すぎたと思う。たかが、こんな小さな町や村で一票ぐらいい、さして重要でない。こんな気持ちでいた人たちが大多数であったのではなからうか。

こんな話がよく聞かれる。わたしも直接聞いたこともある。この前の選挙の時、わしの一票は二千円だった。………こんどの選挙の時はいくらで売れるかな。

このような考え方やその行動がその子どもたちにとどのような影響を与えているのか、それを考えてみたことがあるのかどうか。このような根本的なことを無視して、ただ、いまの若いやつらはかっこうだけを気にしてまるでだめだと、こういうふう

に決めつけているのではないかと。思う。

たしかにわれわれも現実をみつめないでそこから逃避するだけではないかと思う。

しかし、あくまでも結果だけを見るのではなくその原因、過程をみつめなくては、問題の解決にはならない。

こんな意見もあるだろう。おれ一人がそんなことをやっても、どうにもならないのが世の中そんなふうを決めているのではないか。

人は言う。これらの事を知ったとき大人になると。

まちがいを悟ったとき、どちらかが折れる必要があるとわかったとき、妥協も必要だろう。しかし、今までの妥協は、何もしないでの妥協ではなかったかというのをもう一度考える必要もあると思う。

今までは、あの人には世話になったから、義理があるから、というので投じた一票もあるだろう。しかし二十歳になったわれわれを含め、有権者は選ぶ権利を有する、と同時に選んだ人に対する義務をも負う。

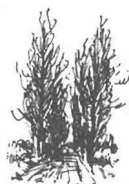
それ考えたうえで、何事にもゆるがない、強く、かつ厳しい目、態度が必要になってくるはずである。それらを考慮したうえで、はじめて権利、義務が遂行できたといえるのではないだろうか。

われわれにとってこれらが精神的・物質的に本当の独立だろう。われわれ同世代の人たちに望みたいのは、今までのなれあいをして、それらの先入観を破るような行動力、思考力のある人間になってもらいたいし、かつ自分自身もなりたいたい、という。

力をもつものが権力者ではない。

成人を迎えて

中角 山下 昭子



公害やスモッグに自然が破壊されている都市近郊。めまぐるしく変わりゆく自然、そんな現況の中でわたしたちは、新鮮な空気を吸い、紅葉した山々につつまれ、鮎、住む清流に、みかんの里に、躍進する青年会活動のもとで、そして生れ育った土地で成人式を迎えられるということは、喜ばしいことではないでしょうか。

二十歳の青春、それは将来に對する幼いころからのあこがれと、いろんな甘い夢でもありましたが、成人式を迎えることによって、それが初めて一人前になったという喜びと同時に、社会人への第一歩として一人立ちすることの義務と責任の重さに緊張と不安すら感じるのです。強く閉じていた心の解放、この中にきょうからたくさんものをを受け入れ、何が真実であるかを知りたいと思っております。理想は高く、希望は大きく、人間性豊かな人生を探究するためにも何でも取り組んでゆこう。

そういう意欲のもとに、わたしは青年会にも入り、いろいろな行事にも参加し、知らなかったこと、考えなければならなかったこと、反面遊ぶことの楽しみや、無駄な行動も知りました。人間は人と接することによって成長し、その過程をさらに高度に追求することもでき、自分を磨き直すという、そういう人間性を養うために青年会は最高の場ではないでしょうか。

きのうまでわたしたちは、一見自分一人でやってきたようですが、本当は、周囲の人々のあたたかい思いやりのおかげでやっと二十歳の輪を積み重ねてもらってました。これからは独立歩、すべて自分一人で立派な年輪を作っていくかならないのです。ここまで育ててくださった周囲の人々や両親に心から「ありがとう」と感謝の気持ちを延べると同時に現実の厳しさに立ち向かっていかねばと、強い意志と行動力ですばらしい社会人となることを、そして人間としての、よき後継者でありたいと願っています。

はつらつとした青春、人間性豊かな青春に、勇気を出して胸をはって歩んでゆきたい。これが成人にあたりいっそう深く感じたわたしの抱負です。

読書感想文

「ゆきごん」

生比名小学校 一年 中村 孝義



を読んで

くも かなわないくらい かしこいところが あるんだね。 「ゆきごん」って いい名まえだね。 きにいったな。 「ほえろ ゆきごん！」 「ぎやあーっ！」 「あるけ ゆきごん！」 ノツシ、ノツシ 「しっぱをふれ ゆきごん！」 ビシャツ、ビシャツ。 かっこいいな。 つぎつぎに よんでいくうちに かいじゅうのくにへきたようで とても おもしろかったよ。

これでも もう 「チビ」だなんてばかにされなくなるね。 だってすばらしいかいじゅうのけらいが できたんだものね。 ゆうごはんにかえてから、 つぎの日も またつぎの日も みきおくんは こなかったね。 かぜをひいていたんだってね。 さむいよる おそくまで ゆきごんを ひとりで つくつてい

たから むりもないね。 かぜで ねているときも ゆきごんのことばかり しんばいしているみきおくん。 ほくは、はやくなおるように っておかみさまに たのんだよ。

かぜがおつたときは、 ゆきごんが いなかったけれどな いたり くやしがつたりしない みきおくんは、えらいな。 みきおくんの いえのまえだ け ゆきを のこしていった ゆきごんは、ぼくのおもったとおり せいぎのみかただったね。 ぼくも すこしのこでな いたり おこつたりしていたけれど きょうからは、みきおくんのように つよい子に きっと なるよ。

そして ふゆがきたら みきおくんのように かいじゅうを たくさん けらいにして せいぎのみかたをする つよい子 になりたいな。 そのときには、きっと なかよくあそぼうね。

かわいそうな みきおくん やしかつただろうな。 おともだちみんなに 「ちび、ちび。」 かってのけものにされたり ばかにされたりして、 でも よくがんばったね。 ぼくだったら ないてかえって とうちゃんに いいつけてやるよ。

先生だって しげるくんや けんちゃんたちに 「小さい子も なかよく あそんで あげんといかんよ。」 というだろうな。

ひとりで ゆきだるまをつ くて ひとりで ころがして あそんでいるみきおくんによしえちゃんまでが 「ちびっこの だるまさん。」 といつて ばかにしたね。 そのとき よんでいるぼくだったよ。 いくら小さくても 女の子ぐらい かみのけを ひっぱって なかしてやればいいのに。

やっぱり みきおくんは、ぼ



正六位 勲五等 名誉町民故朝桐猪平氏

町葬儀執行



故朝桐猪平氏

を歴任し、昭和四十四年七月、徳島県公安委員を最後に、いっさいの公職から退かれ静かに余生を送っておられました。

朝桐先生のご功績は、昭和初期における耕地整理事業によるみかん園の開こん植栽など、地域の産業開発を柱にして、戦後の学制改革に伴う義務教育施設の整備充実、昭和二十五年のジーン・キジャ両台風による災害復旧、横瀬、生比奈両町村の合併の実況と新生勝浦町の新町建設計画、新農村建設計画に基づく新しい町づくりなど、牧挙にいとまがありませんが、とりわけ、坂本川の付け替え事業や、国民健康保険事業の県下他町村に先がけての再開と町立総合病院の建設、徳島県町村合併促進審議会長として、県下の町村合併の促進、あるいは、小松島十字病院の建設、全国地方自治体の殿堂である、全国町村会館の建設などは、朝桐先生の卓越した識見と、非凡な政治手腕を如実に示したものであります。

このようなご功績によって、昭和三十年十一月、全国町村合併ならびに新市町村建設功労者として、内閣総理大臣表彰、昭和三十三年十一月、藍綬褒章、昭和四十一年四月、勲五等双光旭日章が贈られ、このたびのご逝去に当たり特旨をもって正六位に叙せられました。また、勝浦町においても、昭和四十七年十月六日、町議会の満場一致の議決を経て名誉町民に推挙し、十一月三日文化の日を期して、名誉町民章を贈呈したのであります。

元勝浦町長、元全国町村会長、元徳島県議会議員朝桐猪平氏は、旧う十一月二十三日午後零時四十五分ご逝去され、十一月三十日勝浦中学校体育館で、武市徳島県知事をはじめ、町内外多数のかたがたのご参列をいただき、町葬をもって、しめやかに執り行なわれました。

朝桐先生は、大正十年、棚野村議会議員に当選して以来、町制施行後の横瀬町議会議員を二期八年間、昭和二年十月から、徳島県議会議員を四期十四年間、昭和十三年二月から横瀬町長を三期十二年、合併後の初代勝浦町長を一期四年間務められ、この間、徳島県町村会長、全国町村会長、徳島県町村合併促進審議会長、徳島県国民健康保険団体連合会理事長、全国国民健康保険団体中央会副会長、日本赤十字社評議員、日本赤十字社徳島県副支部長など、数々の要職

旭日章が贈られ、このたびのご逝去に当たり特旨をもって正六位に叙せられました。また、勝浦町においても、昭和四十七年十月六日、町議会の満場一致の議決を経て名誉町民に推挙し、十一月三日文化の日を期して、名誉町民章を贈呈したのであります。

わたくしたちの町勝浦が生んだ偉大な指導者、朝桐先生のご逝去を惜しみ、そのご功績をたたえ、ご遺徳をしのぶ声は内外に満ちておりますが、それを物語るかのように町葬儀も、きわめて壮厳かつ、盛大なものでありました。

「朝桐奨学賞」として 故朝桐猪平氏のご遺志を永久に

旧う十一月二十三日ご逝去された正六位勲五等故朝桐猪平氏のご遺族から、密葬、町葬に寄せられたご芳志の香典返しに代えて、金六五三、一〇〇円が、町の善意銀行へ寄付されました。町と善意銀行では、この尊い

年金だより 拠出年金(かけ金をしていた人の年金)の 支払期月が変わります!

昭和四十七年までは、二、五、八、十一月でしたが、昭和四十八年は次表のとおりに変更となりますので、お知らせします。(福祉年金の受給権者は、従来どおりです。)

種別	支払期月
障害(母子)年金	二月、六月、九月、十一月
老令年金	二月、六月、九月、十一月

住民福祉課

電報電話局だより

まちがい電話には お互いに 気をつけましょう

まちがい電話をかけて「アツ、そう」ガツチャンと切ってしまいうー近ごろ、そんな非常識な人がときどきいます。知らない方への、とくに深夜のまちがい電話ほど迷惑なものはありません。せめてひとこと「失礼しました」といいます。これこそ、電話をかける人のあたりまえのエチケットです。とくに同姓の方や、よく似た番号にかける場合、もう一度番号を確かめてからダイヤルしましょう。



いそぐ工事は早めに お申し出ください

家を改築しているからすぐ電話を移転してほしいという申し込みがありますが、すぐにお伺いできません。改築や移転の予定がきまりましたらすぐ、電話局(二〇〇〇番無料)へ電話で申し込んでください。 阿波勝浦電報電話局

同和教育シリーズ

(その十六)

結婚と差別



勝浦町の
みなさん
明けて
おめでと
う
ございます



一九七三年の輝かしい夜明けを迎えて、みなさんは、希望と抱負にさぞかし張り切っていることと存じます。

さて、一昨年より連載いたしておりました『勝浦広報』同和教育シリーズもいよいよ三年めを迎え回を重ねること十六回となりました。その間みなさん方にもいつも愛読いただきほんとうにありがとうございました。

一九七三年は、同対法施行満四十年めに入り、十年の期限もあますところ六十年余となりました。この間に、不合理な因襲差別の撤廃を急がなければならぬのです。はたして、あと六年で実現可能でありましょうか。そのためには、学校、社会、家庭の三者が一体化した同和教育の深徹が望まれるのです。

わたしは、その一日も早い解消を心より祈念しつつ筆をすすめていきたいと思ひます。みなさん、もし相思相愛の二人が、何の障害もなく結婚する

ことができる世の中になつたら、どんなにすばらしいことかとは思ひませぬか。それをじゃましているものこそ、迷信であり、差別なのです。みなさんの中には、霧島昇、松原操の歌つたあの『旅の夜風』の映画化『愛染かつら』に誰しも紅涙を流したのではないのでしょうか。

青年医師津村耕造と悲劇のヒロイン高石かつえの愛と悲しみの物語に、何人も、周囲の無理解を憤られたことでしょう。

津村医師と高石かつえ、でも高石かつえは子どもをつれての再婚だけに周囲の目は冷たかったです。それでも情あるみなさま方は、きっと、手に汗して二人の幸せな門出を祈られたのではないのでしょうか。

ところが、それよりもむごいそして悲しい結婚差別による悲劇が今も現実にくくりひろげられているのです。



みなさんは、昨年二月ごろ、関西テレビで『冬の海』という劇映画が、全国の注目を集めつつ上映されたのをご覧になった

と思います。なぜこの映画が、そんなに注目を集めたのかと申しますと、この映画は『差別』と、尊い人の命までも奪うものだ、ということ、事実により教えたものであるからです。現実に実際におきた差別現象をもとに作られた映画なのです。



しかもその尊い犠牲者の娘さんは、徳島の生まれでありました。その娘さんは単身、大阪に出て保母として力いっぱい働いているところを、大阪の青年に見染められ、交際しているうちに恋愛に発展し、あとは結婚にゴールインするばかりとなりました。ところが、女教員のその青年の母親が、猛烈に反対しはじめました。理由はあからさまには言いませんでしたが、結局、せんじつめたところ、娘が徳島の同和地区出身であるというただそれだけの理由だからです。

二人の仲を引き裂かれた娘さんは嘆き悲しみ、相手の幸福のために、自分が身を引くことが最もよいことだと考えて身を引いたのです。しかし、ようやく手に入れたしあわせを捨て、最愛の人といわれなき差別のために別なければならないなんて、この娘さんはどうしても、納得することができず、冷たい社会に、いまわしい社会に死をもって抗議したのであります。かわい、美しい顔たちの、



石でこしらえた作品

紹介 石細工に生きる喜びを

その人は沼江の山上正一さん(三十八)で、山上さんは胃腸を悪くし病院生活一年半、通院を始めてからデッサンや美術などの関係書を買ひ、なにか人生に生きがいと勉強するようになった。

そして、精神の統一、修養と負けん気でもって、デッサンから石彫り、みがきまですべてを

そして、心のやさしい子どもをとても大切にす立派な保母さんであつたといひます。若々しいりんりんとうよくひびく声で、子どもたちを教えた先生。数十名の幼児たちにとつても、かけがえない先生が、差別によって失われたのです。いったい、だれが悪いのでしょうか。この悲劇をこしらえたのはだれなのでしょう。その保母さんのどこが悪かつたのでしょうか。

『わが身つねって、人の痛さを知れ』ということばがあります。被差別部落の人たちにとっては、差別こそ死にも等しい地獄の苦しみの死です。かりにあなたが、この娘さんの肉親になつてみなさい。あなたは自分の娘が悪いのだと思つてそのままあきらめることができるのでしょうか。あなただつてこの激しい心の怒りをきつと社会にたたきつると思います。

志、妻千代子さん(三十六)の助けがまし手伝つて、今では立派に腕を上げ、見事な石細工を彫るようになり、県内外の名士から激励や注文も受けはりきつています。

材石はほとんど外国から買ひ入れ、最初は、ヒョウタン、サカヅキなど単純なものから手がけ、エビス、ハンニヤ、カラジシ、フクスケと多種多様に彫り、石細工に打ち込んで十余年の魂が輝いている。

原石が高いだけに、給料のほとんどをつぎこむ状態で、千代子さんもはじめはばやいていたが、主人の志に今では手伝いながらこの石細工に誇りをもつようになつた。

でき上がった製品は、東京や京都方面に、また徳島のさくらぎ美術店に『笑兵衛』の作品として展示されている。

今月の農作業 メモ



三、老木園の改植および新植の準備
生産性の低い木（系統不良樹を含む）は計画的に改植をはかり、園全体の若返りをはかる。

一、年の始めにあたり経営計画をたてよう

昨年の栽培技術、経営、販売等の反省をすることともに、気分を新たに、経営日誌の記帳を必ず行ない、経営実態を明らかにする。本町における一農家あたりのおおまかな目標は次のとおりです。

農家所得二百万円、一〇a当り四・〇t、kg当り販売価格六〇円です。

一方生産費は一〇a当り、肥料代一万円、農薬代七千円、労賃四・五万円、果実一・〇kg当り生産費二十五円以内としたいものです。

二、土壌調査と石灰類の施用

ミカン畑のPH値は六・〇〜六・五くらいが最も肥料の利用率がよく、木の生育もよいものです。土壌調査を行ない、正確な量を施用するのがよいので、この機会にぜひ行ってください。一般におおまかな施用量は一〇a

当り次のとおりです。
・赤土がかつた畑 三〇袋以上
・黒ざれがかつた畑 二〇袋以上
（いずれもアルカリ分五三%、苦土一五%のもの）

水田転作等の新植園は全面深耕、石灰類の全層施用を行う。植穴は大きいほどよいが、深さ、直径とも六〇cmくらいのものでは次の基準を参考にしてください。
・苦土石灰 一kg
・燐 二kg
・鶏フン 二kg
・ミカン用固型肥料 五〇〜一〇〇コ

四、貯蔵庫の管理

昨年産果は豊作のため入庫量が多いうえ全般に浮皮果が多く、例年の同時期にくらべ酸が少く、また樹上で雪をかむった果実も入庫されており、萎凋加減や腐敗果の点検、庫内換気をじゅうぶん行なうこと。
庫内温度三〜五度C、関係湿度八〇〜八五%に保つよう心がけること。

五、落葉果樹の剪定と病虫害防除

(イ) 剪定
落葉果樹では最も重要な作業です。特に梅は蕾がふくらむまでに終ることが大切です。
(ロ) 病虫害防除
梅……こうやく病、くろほし病には石灰イオウ合剤一〇倍液、クワシロカイガラムシは九五%

おみそかの鐘が鳴り終ると、年の瀬の気ぜわしさが消えて、なんとなく静かなムードになりますが、それも一瞬、お正月は年始まわりや初もうで、帰省や休みを利用しての各種の会合、あるいは行楽地へのドライブなど、いろいろな行事が多く、いきおい主要幹線道路は交通量が増大し、交通事故の多発が予想されます。加えて季節的にも交通事故を起しやすい時期です。

交通安全講座 (その十八)

正月の安全運転あれこれ



などたしかめ、古いタイヤは早めに交換しておきましょう。
◇スピードは控えめに
寒さが増してくると路面が凍結してすべりやすくなるため、からすべりや、横すべりをして非常に危険です。その上スピードを出し過ぎブレーキをかけたら、それこそ大変なことになります。車は急にとまらまいのです。いくら世界一のプロドライバーでも凍った道では、急停車はできません。

冬は気象が急変しやすいので、早々から悲惨な交通事故を起さないよう、次の点にじゅうぶん注意するとともに、ことしこそ勝浦町民ひとりひとりが、交通事故や交通公害のない明るい生活環境を確保するよう努めてください。

◆車の点検整備を励行しよう
冬は寒さのため、どうしても車の点検整備がおろそかになりがちです。安全運転するためには車の機能がじゅうぶん発揮できるように整備されていなければなりません。

- ① プレーキのききはハンドルの遊びは
- ② ブレーキオイルの量は
- ③ ウインドワイパーに異常は
- ④ タイヤの空気圧は
- ⑤

機械油乳剤一七倍液の撒布を行なう。
柿……フジコナカイガラムシ

類は九五%、機械油乳剤一七倍液の撒布を行なう。
農業技術センター

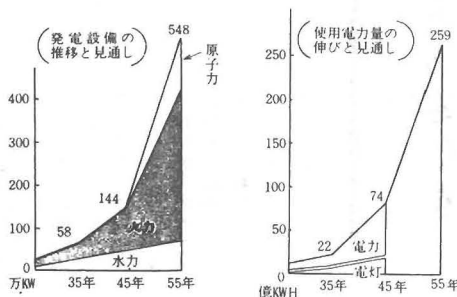
四国電力だより

電気の使用量は うなぎのぼりに 伸びています

四国の電気の使用量は、過去十年間に三・三倍伸びました。今後十年間では更に三・五倍ふえる見通しです。

電源の開発は目下の急務

四国電力はこうした需要の伸びに見合う電源の開発を進め、みなさんに十分に電気を使っていただけるよう懸命の努力を続けております。



す。車で遠出するときなどは、道路状況や気象状況をよく調べ、スノータイヤやタイヤチェーンを用意しましょう。
◇飲酒運転は絶対にしない
正月は、祝い酒やつきあい酒など、その機会が多くなります。飲酒運転については殆んど毎回のようには述べているので、詳しいことは省きますが、事故を起せばおそろしく自分ひとりでは、解決ができないだろうと思えます。自分の家族や相手の家族のことなど、そこに待ち受けているのは、精神的、経済的の二重の苦しみだけです。このことを深く肝に銘じておこなれば、酒を飲んだ場合簡単にハンドルは持てないはずで、本人だけでなく、まわりの人も飲酒運転をさせないよう、気をつけてあげ、本年こそは、この悪習を追放しましょう。横瀬駐在 湯浅部長

社会を明るくする弁論大会

悲しみを越えて

勝浦中学校 三年 山川 幸子



わたしは、三年生になってまだ日が浅いころ、ひとつの大きな悩みをかかえました。

その悩みは、今まで一度もあじわったことのない、とても大きな、そしてその悩みは自分で解決しなければならぬ悩みでした。

わたしがその悩みごとに出合ったのは、今からちょうど半年前の四月の上旬でした。その日はいつになく天気もよく、三年生になりたてのわたしには、なにもかもが楽しいというような日でした。でも、そう思えたのは、その日の午前中まででした。その日はちょうど、午後から二時間つづけて体育のある日で、三年生になってはじめての体育であったので、わたしの心はまるでその日は体育だけを勉強してきた、といってもいいぐらいでした。

五時間目始業のチャイムとともに、わたしは二、三人の女子といっしょに、楽しくたわいなし話をしながら体育館へ入り、

先生が来られるのをまっていた。まもなくすると、先生が来られ、全員を整列させた後、みんなに「だれとでもいいから二人一組にならなさい。」と言われました。その時、わたしは、「だれとでも」ということばと同時に動けなくなりました。



今までのわたしであれば、「だれとでも」というこの言葉は、耳をかすめるだけの言葉でしたが、この時のわたしには耳の底にずんとひびき、その時間じゅう何をすることも、この言葉が気にかかりました。なぜなら、わたしは組に「だれとでも」にあたる人がいなかったからです。「だれとでも」というのは、一般的には、よく知らない人とか、どの人と決まっていな人のことをいうのですが、この場合の「だれとでも」は言いかえれば「親しい人」というような意味のものです。自分一人だけにいるときは、孤独なんかじゃないんです。大ぜいの中でいてはじめて孤独というものが

が感じてくるのです。その日の体育は、まわりの人がみんな冷たく感じました。下校のとき見た山々までが今までとちがってわたしにそっぽをむいているように感じました。学校にいて話をしている、どうしてももう一歩、というところで、みんなの中へとけこむことができません。表面的な話ばかりになってしまうのです。

わたしは、今まで読むことを忘れていた本を読むようになり、ました。「アンネの日記」の中に紙は人間よりも辛抱づよいということばがありましたが、紙や本は、わたしが話かけることをいやがらず、いつでもわたしの話し相手になってくれます。わたしは夏休みになれば、気分もはれるだろうと夏休みがくるのを待ちながら本を読みました。そして夏休み、わたしは思っていたとおり、夏休みはわたしに孤独を感じさせませんでした。勉強においかけれながらも、楽しくのびのびと過ごすことができました。

九月二日、わたしはこの日の学級役員選挙で、級長に選ばれました。でもわたしはその時にもまず、わたしにみんなをまとめることができるだろうか、という不安がうかび、ただ副級長



の二人だけがたよりでした。わたしはその日、級長に選ばれてうれしくないという心と、わたしがみんなにとけこむことができるだろうか、という心配とが入り混じって、複雑な気持ちでした。でもわたしは、その夜お風呂の中で考えたんです。



わたしは今まで、組ではいつも一人ぼっちだなんて思っていたけど、そんなのまったくまちがいだ。なぜなら、わたしを選んだくれた人が二十六人もいるのだ。黒板に書く字がまづとてもいい、司会がへたでも恥ずかしい、ただせいっぱいわたしをえらんできた組のために努力している。こう考えることによってわたしは、この悩みにピリオドをうつことができた。だからそういうふうには考えられない。今までのわたしと違ってどんなことにも自信をもってできるようなになりました。また、そう考えると、今までそっぽをむいていた山々がわたしに笑いかけ、川のせせらぎがまるでわたしの心を歌っているかのように快くわたしの耳にひびくのです。

今のわたしの気持ちは、とても壮大で、まるで一つの大きな

山を征服したみたいなのです。ですから、このごろは毎日が充実し、わたしからだれにでも、いくらでも話かけていくことができます。

わたしはこのことについて悩むことができて本当に良かったと思います。この悩みごとをかかえるのが、一、二年生の時であれば、おそらくわたしはこうもじょうずに乗りこなすことができなかっただろうし、これほど人生の勉強として、感じることもできなかったと思います。

わたしはだれもが自分が一人ぼっちである、ということに悩むことがあると思います。しかし、わたしたちはそんな時にこそ自分をみつめ、自分をのびしてゆくことが大切なことだと思います。そしてわたしは今、この悩みをもって人に言っ

—あまり小さい事を考えすぎないことだ！
大空を見ろ！
山々を見ろ！
みんな笑っているぞーと



消費生活

くらしのメモ

衣 冬の洗たく



寒いときの洗たくは、なかなか乾きが悪いものです。短い冬の日をじゅうぶんに利用することが大切です。朝の食事のあと片づけや、そうじをすませてから洗ったのでは、物によってはその日のうちに乾きません。そこで、前の日に洗っておき、あとはよく水を切りバスタオルに包んでおきます。とくに寒い夜は凍ることもあるので、お風呂場などのあたたかい場所においておきましょう。

翌朝はなるべく早めに干してください。冬はロープに干すより、竹ざおのほうが風通しがよく、乾きもずっと早くなります。厚手の物は、高いところに、薄手の物は低いところに干すのが早く乾かすコツです。また色物は下に、白い物は上にほうに干すようにしましょう。

食 お節料理



お節料理といえは、昔は四段重ね、五段重ねなどのお重に詰めていましたが、現在では二段重ねや三段重ねのお重でもじゅうぶんすぎるくらいでしょう。

また、野菜類はそのままの姿でなく飾り切りにし、料理も肉類と卵料理が多く、魚介類が少なくなつたようです。

一の重には、卵巻き、姿海老、かずのこ、きんとん、イクラなど子どももよろこび、おとなの肴にもなるものを。

二の重には、かまぼこをはじめ鶏肉の串団子やうずらの卵の串さしなど。

三の重には、にんじん、くわい、ごぼう、しょうが、たけのこなど野菜のにしめといった現代風のもの。

このお節料理は、親しい人どうしなら食卓にひろげて、自由にとつてもらいますが、ふつうは客の好みをみにつくろつて、とり皿にとつてすすめます。

ただし、香りの強いものと弱いものはとり合わせないようにし、一度にたくさんとらず、とり合わせの配色にも気をくばりましょう。

住 土なべの使いかた

土なべは熱が逃げにくいので、冬の料理には好適ですが、ふつうのなべと違って割れやすかったり、ひびがはいりやすいという欠点があります。

使い始めのとき、土なべがはいるぐらいの容器があれば水をたっぷり入れ、塩と土なべを入れて煮立ててから使くと、割れにくくなります。



河川愛護について

このほど県は河川愛護月間を定め、愛護班をつくり巡視して河川を美しくする運動をはじめました。住民みなさんのご協力を得て、河川にゴミ、がれき等をすてないで美しい勝浦川にいたしましょう。

住民福祉課
建設課

ご結婚おめでとう

(沼江 折宇 利一
池田町 駒口 良江)

お誕生おめでとう

久国松田 豊長女 貴美子
坂本森脇 尙長女 昭子
坂本神田 清志長女 真由美
沼江山西 昭一長男 信也
三溪藤田 富治長女 敦子
沼江毎木 進長男 章浩
久国倉橋 久治長男 敦司
棚野竹治多賀子二男 博

坂本井原 心一長男 健太郎
坂本上平 士郎長男 正芳

おくやみ申します

三溪 朝桐 猪平 (八五)
三溪 新居コリク (六五)
三溪 鈴木 梅 (四三)
久国 久保 義雄 (五八)
棚野 竹治 庸博 (二九)
生名 時本シマノ (六四)
三溪 吉野 嘉平 (八一)
三溪 神子ミヌエ (七六)
沼江 西上 國夫 (四六)
坂本 若木ミサエ (七十)

勝浦 柳壇

柳壇

出詠は毎月末日までに三句ハガキで、送付先 勝浦町三溪 柳壇広夫(都景)まで、尚御希望の方にもありますので短歌・俳句等も募集しております。交代にのせます。

ポケットの臍くり妻に見付られ
此の辺で負けるのもコツ処世術
磨かれた意世相にそっぽ向き
逝きし人惜しむ今なら良い薬り
愚痴一つ言わぬ夫え靴そろえ
戸の壁もクレヨンぬつて孫達者
嫁きおくれ満で数えて隠す歳
仲人になる約束の屠蘇の酔
年令を書かせる嫌なアンケート
荒れた掌を黙って包む夫がいる
もう一つ答がほしいアンケート
子が戻る予感布団を乾してみる
成り過ぎて売れぬみかんえする吐息

短歌

採算の合わぬ値となり吐息つくみかんえ
目白群れて啄む
俗塵に染まず聳える大銀杏我が意
のままに落葉散り敷く

横瀬 山月 満月
横瀬 桂木 瓢人
棚野 太田 山人
沼江 いずばじゅん
中角 麻植 如水
坂本 中川 野子住
横瀬 溝内 英男
横瀬 田中 中みさ
生名 丸山 香月
沼江 大岡 小枝
中山 倉橋 加辻
横瀬 中田 万里
横瀬 榑勢 都景

横瀬 比呂志